

令和6年度の主な天文現象



※ 作図は ステラナビゲータ 10 を使用しています

8/12頃
月

ペルセウス座流星群

3大流星群

今年は月が沈む12日午後11時ごろから13日未明にかけて60個/時ほどの流星を見ることができます。



8月13日02時30分頃

12/8
日

月と土星の超大接近

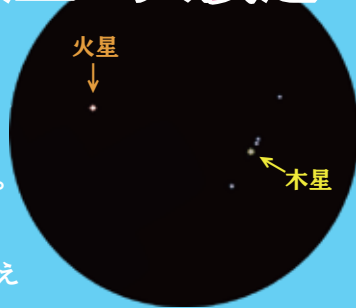
12月8日東京大阪などでは土星が月に隠される「土星食」が起こります。宇宙館付近では「土星食」になりませんが、18時半ごろ、月の縁をかすめる土星を天体望遠鏡を使って観望できます。



8/15
木

木星と火星の大接近

8月15日午前2時～4時半頃にかけて、木星と火星が大接近するようすを観望できます。観望はできませんが、午前0時頃離角18分まで大接近します。望遠鏡や双眼鏡無しでも十分観望できます。今回は、東の空での天文現象です。東の空が見える場所で観望してください。



12/13頃
金

ふたご座流星群

3大流星群

今年は13日夜から14日未明にかけて20個/時ほどの流星を見ることができます。



12月14日00時頃

9/17
火

中秋の名月

中秋の名月は、旧暦8月15日の月を指し、特に美しいとされます。ちなみに、満月は翌日の18日です。



2/5
水

月面X

17時～20時

月と太陽の位置関係で、特別に条件がそろると、月の地形が「X」の文字のように見えることがあります。天体望遠鏡を使って見つけてみませんか？ ※望遠鏡を使わないと見えません。



10/15頃
火

紫金山・アトラス彗星

紫金山・アトラス彗星は、望遠鏡や双眼鏡を使わなくても見える明るさに達する可能性があります。10月12日から25日ごろ西の空に見えます。右の写真は2020年7月に明るくなった「ネオワイズ彗星」です。



ネオワイズ彗星

せんだい宇宙館 夜間の観察時間

日没時間を考慮した季節のおすすめ時刻表です。

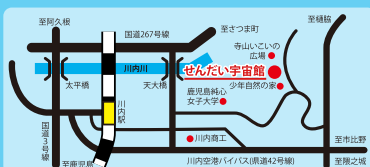
※ 最終入館時刻は20:30となります。

1月～2月	18:30～21:00
3月	19:00～21:00
4月	19:30～21:00
5月	19:45～21:00
6月～7月	20:00～21:00
8月	19:30～21:00
9月	19:00～21:00
10月～12月	18:30～21:00

のマークは観望会を実施します

(※ 特別な天文現象は開館時間を延長し天候不良時は中止の場合があります)

ホームページ



せんだい宇宙館 TEL 0996-31-4477

〒895-0005 鹿児島県薩摩川内市永利町 2133 番地 6 (寺山いこいの広場内)

